

青少年訪中団に参加しました

本校の高校一年の生徒が、神奈川県日本中国友好協会主催の神奈川県青少年訪中団に参加して北京などを訪問しました。大いなる学びを得た体験をご紹介します。生徒の感想を掲載いたします。

歴史的にも地理的にも切っても切り離せない中国のことを私は実際に中国を訪れるまで、ほとんど知らなかったのだと実感した旅でした。

立ち並ぶ高層ビルや、日本よりも速い高速鉄道(新幹線)、そして私が地下鉄に乗っていると、「日本人ですか。」と気さくに話しかけてくれる中国の方。どれもテレビから感じた私の中国のイメージにはなかったものでした。

現地の高校生の方々とのスピーチコンテストでは、中国の学生さんの自信に満ち溢れた姿に圧倒されました。スピーチコンテストでは、学生の方々が講堂に響き渡る声で将来の夢や社会問題を語る姿を目にして、きちんと自分の意思を持っているのだと感心すると同時に、自分の意志の甘さを恥じました。私が社会情勢などの社会問題に無関心だったことにも気づかされました。次に彼らと会うときには、負けないうらいの情熱でお互いの国のことを語り合いたいです。

今回の旅で得たことを忘れずに、日中の友好の輪を広げる力に少しでもなりたいと思います。

